



第39回大分国際車いすマラソン プレスガイド

大会事務局では、11月16日(土)・17日(日)両日、下記のとおり、プレスセンターを設けます。
大会資料のご請求、記録結果等のお問い合わせは、下記までご連絡ください。

【11月16日(土):開会式・パレード】

15時30分から17時まで、ガレリア竹町ドーム広場に「報道受付」を設置します。
資料やプレス用IDカードをご希望の方は、受付までお越しください。

◎開会式における取材について

取材の際には、自社腕章を着用してください。

自社腕章がない場合、プレス用IDカードを臨時に発行しますので、「報道受付」までお越しください。

取材終了後は、IDカードを「報道受付」まで必ずご返却ください。

【11月17日(日):レース・閉会式】

① スタート地点(大分県庁周辺) P4

8時から10時まで、大分城址公園内の総合案内に資料を設置します。
ご希望の方は、受付までお越しください。

※ 大分城址公園周辺には報道用駐車場を用意しておりません。
一般駐車場をご利用ください。

② プレスセンター(大分市営陸上競技場内) P6

8時から14時まで、大分市営陸上競技場内に「プレスセンター」を設けます。
資料および記録結果等を随時ご提供しますので、ご利用ください。

センター内には、FAX付きコピー機1台、電話2台、ネット接続用のハブ(光回線)を用意していますのでご利用ください。

※ 昼食は用意しておりません。

◎競技場における取材について

取材の際には、報道受付で配布するプレス用IDカード及び緑ビブスを着用ください。

取材終了後は、IDカード及び緑ビブスを「報道受付」または「プレスセンター」まで必ずご返却ください。



大分国際車いすマラソン事務局

大分県福祉保健部 障害者社会参加推進室内 大分県障がい者体育協会

担当 梶原、古澤

電話 097-533-6006 (※11月17日(日)を除く)

メール kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp

プレスセンター [11月17日(日)設置 8:00~14:00]

電話 097-552-8100、8101

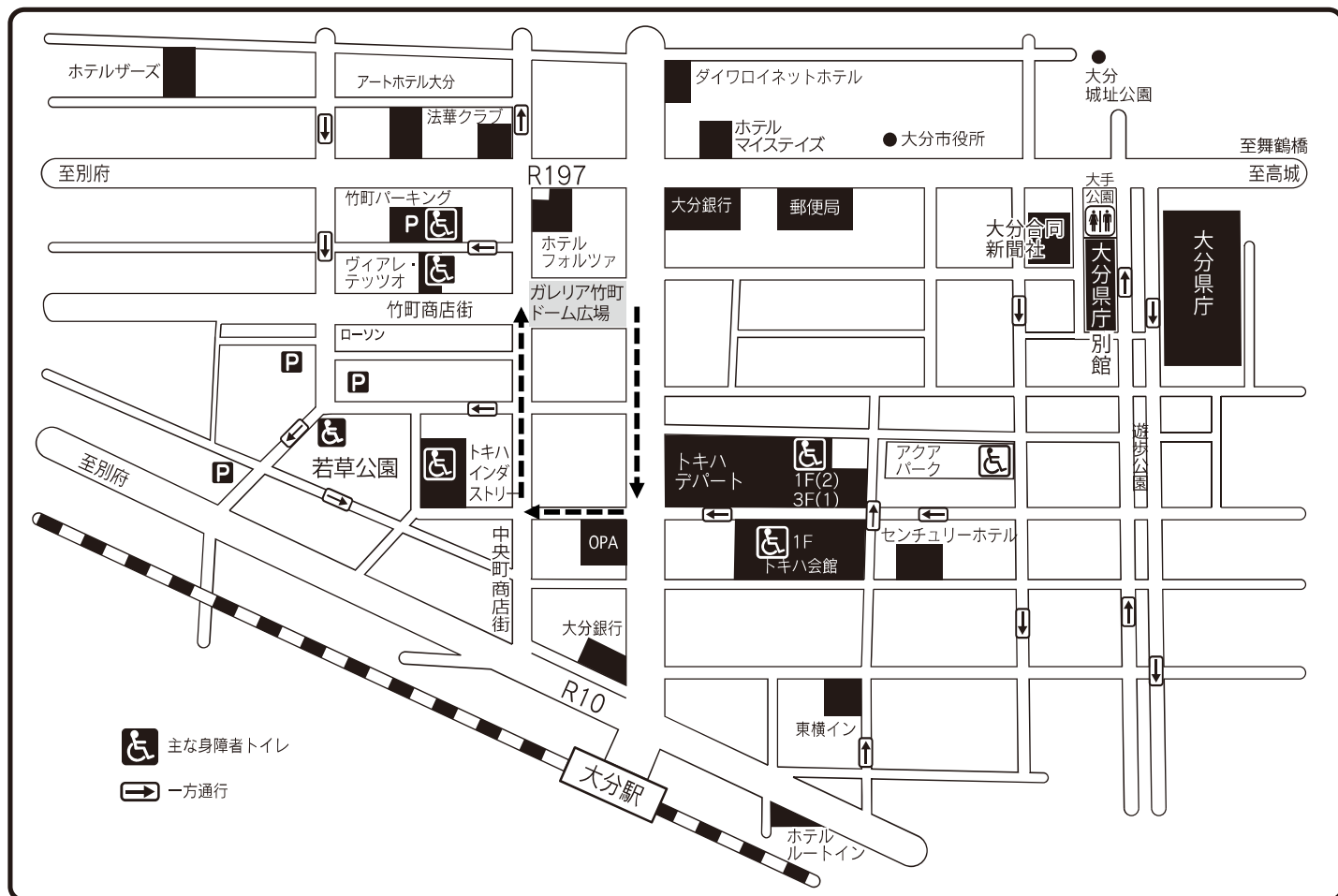
11月16日(土) 開会式・パレードについて

第39回大分国際車いすマラソン 開会式概要

開会式	15:20～ オープニングアトラクション(大分高校書道部) 16:00～ ①開式通告 16:01～ ②大会会長挨拶/大分県知事 広瀬 勝貞 16:04～ ③地元市長挨拶/大分市市長 佐藤 樹一郎 16:08～ ④来賓挨拶/スポーツ庁長官 鈴木 大地 16:13～ ⑤主催者・来賓紹介 16:16～ ⑥選手宣誓 16:18～ ⑥閉会通告
パレード	16:20～ 大分東明高校吹奏楽部を先頭に商店街をパレード開始 17:45～ パレード隊先頭 ガレリア竹町ドーム広場到着予定 17:00～ パレード隊最後尾 ガレリア竹町ドーム広場到着予定
記者会見	17:10～ 招待選手を中心に、ガレリア竹町ドーム広場にて記者会見を行います。 30分程度の予定です。参加選手は後日、大会ホームページにてお知らせします。 ※選手はレースを翌日に控えていますので、記者会見終了後の取材はご遠慮ください。

※内容及び時間配分については変更することがあります。

■パレードコース図



11月17日（日）レース・閉会式

◎コース内での取材

- 1 コース内での特定選手の**並走**取材はできません。
- 2 写真撮影に際して、コース内の中央分離帯への道路横切り、コース内への身の乗り出しは、選手の走行の妨げとなるだけでなく危険ですので絶対に行わないでください。

◎競技場内での取材

【競技場内の取材規制】

競技場内(下図の斜線部)は、陸上競技場の報道受付にて配布する**プレス用IDカード**及び**緑ビブス**を着用していない方は入れません。

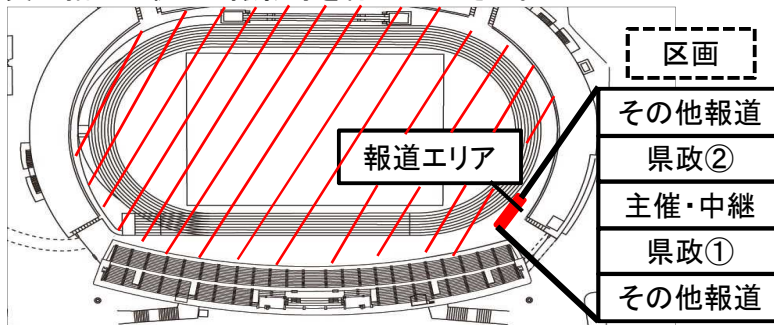
【報道エリア】

- ① 競技場内に「報道エリア」を設置します。
- ② 報道エリア内は3種類の区画に分かれます。
 - ・主催・中継区画＝大会主催者及びTV中継関係
 - ・県政区画＝県政記者クラブ加盟社
 - ・その他報道区画＝上記以外の報道関係者
- ③ その他報道区画内の取材位置について、当日**11時からフィニッシュ地点取材エリア**にて抽選を実施します。
- ④ その他詳細は現場係員の指示に従ってください。

【インタビュー】

- ① 各クラス1位の選手は、着順が**決定後**、インタビュー台へと誘導します。
インタビュー台での**TV用インタビュー**が最優先となります。
後続選手の走行の妨げとなり**危険なため**、フィニッシュ地点での選手の囲み取材は行わないでください。
- ② マラソンT34/53/54の1位がフィニッシュしてから12:00までは、以下の選手へのインタビューを、当日生中継のOBSテレビが代表して行います。
 - (1)マラソンT34/53/54の1位
 - (2)マラソンT34/53/54国内男子選手の1位～4位(放送時間の都合などで3位まで等切り上げる可能あり)
※①が国内男子選手の場合は、国内1位として再度インタビューすることはありません。
 - (3)マラソンT34/53/54の女子1位(フィニッシュ時間によっては行わない場合もあります)
- ③ その他、競技の妨げとならないよう、係員の指示に従って撮影等を行ってください。

《フィニッシュ予想時間》		区画
・ハーフマラソン	男子(T34/53/54)1位 …10時48分前後	
・ "	女子(T34/53/54)1位 …10時55分前後	県政②
・マラソン	男子(T34/53/54)1位 …11時20分前後	主催・中継
・ "	女子(T34/53/54)1位 …11時35分前後	県政①
		その他報道



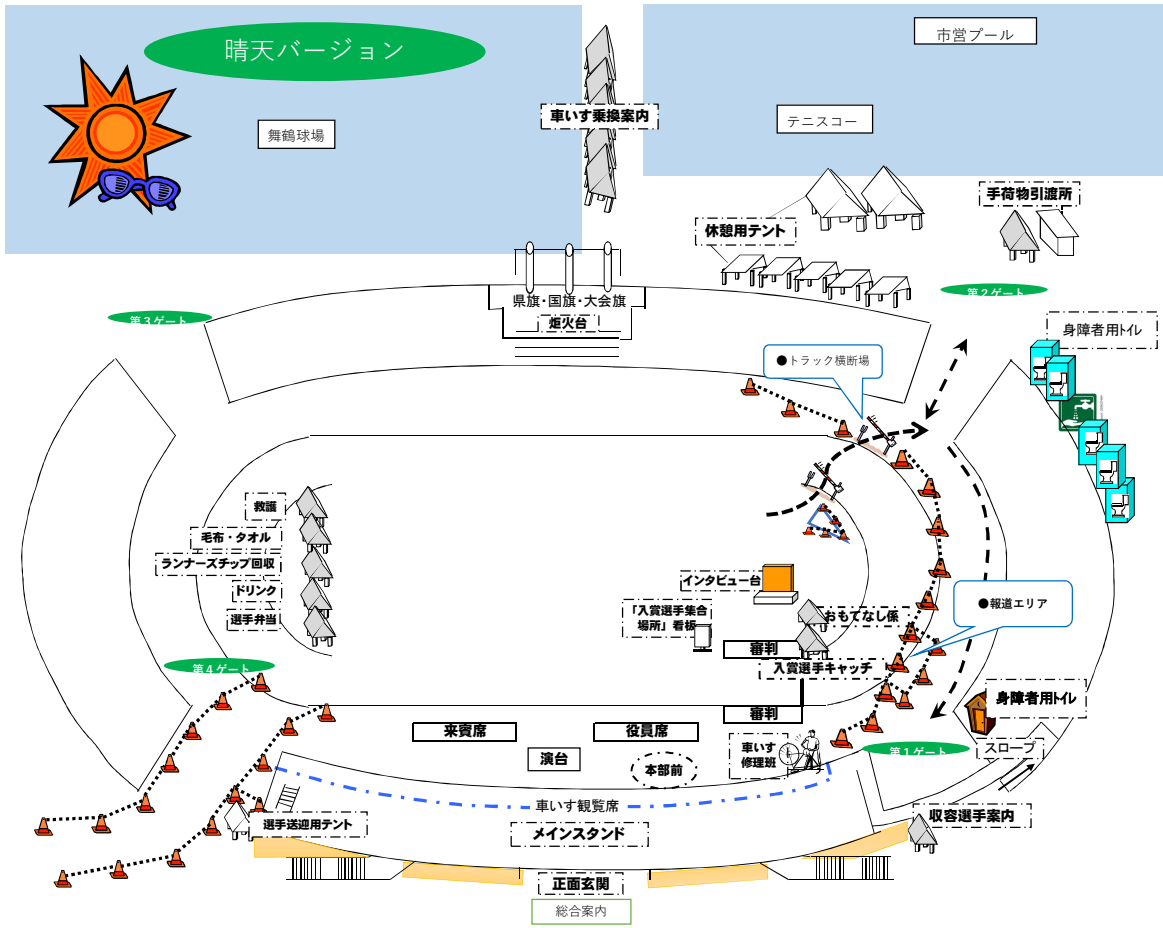
◎記録のお問合せ

記録については、市営陸上競技場内のプレスセンターでのみ配布いたします。
記録室や本部への入室は固くお断りします。

～大会当日はテレビ・インターネット・ラジオで生中継を実施いたします～

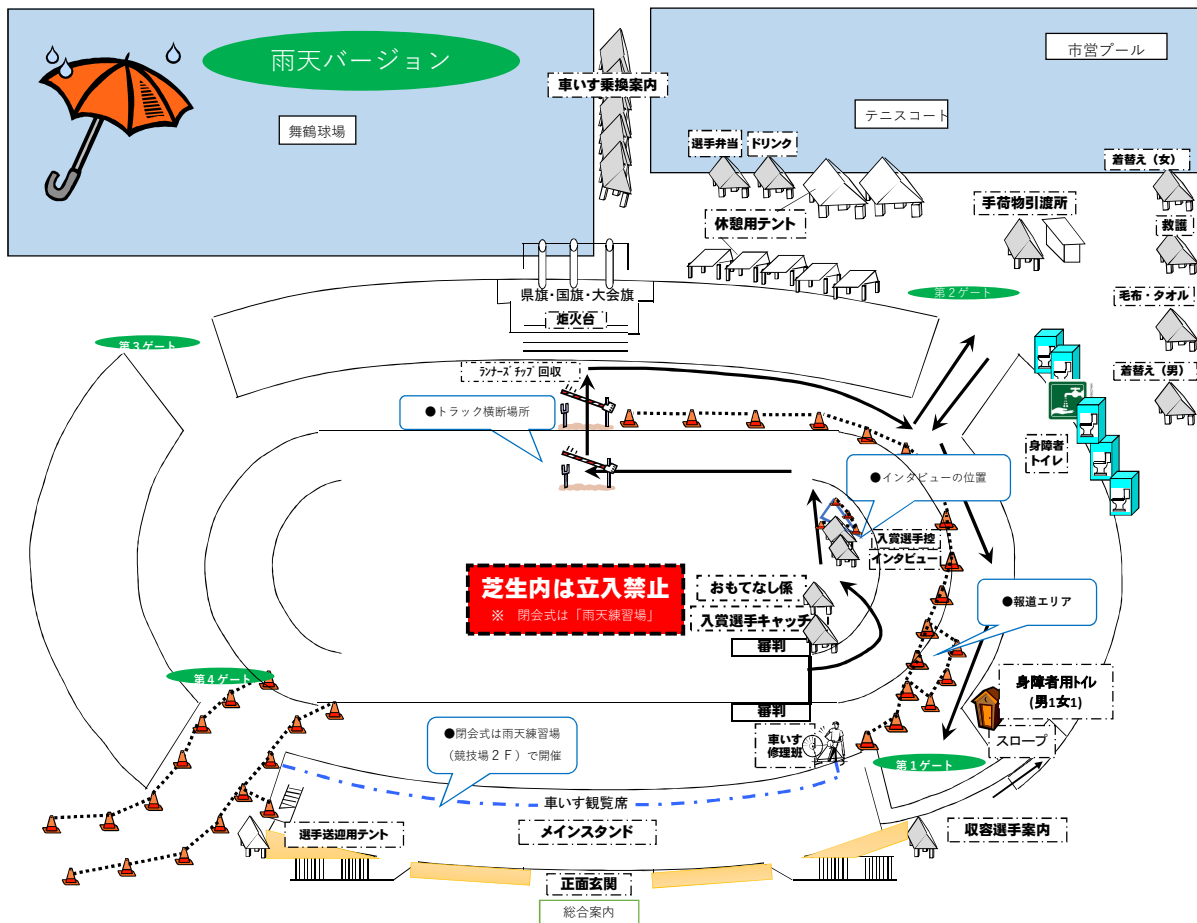
- テレビ生中継 BS-TBS、OBS大分放送
- ラジオ生中継 OBSラジオ

陸上競技場（晴天時）



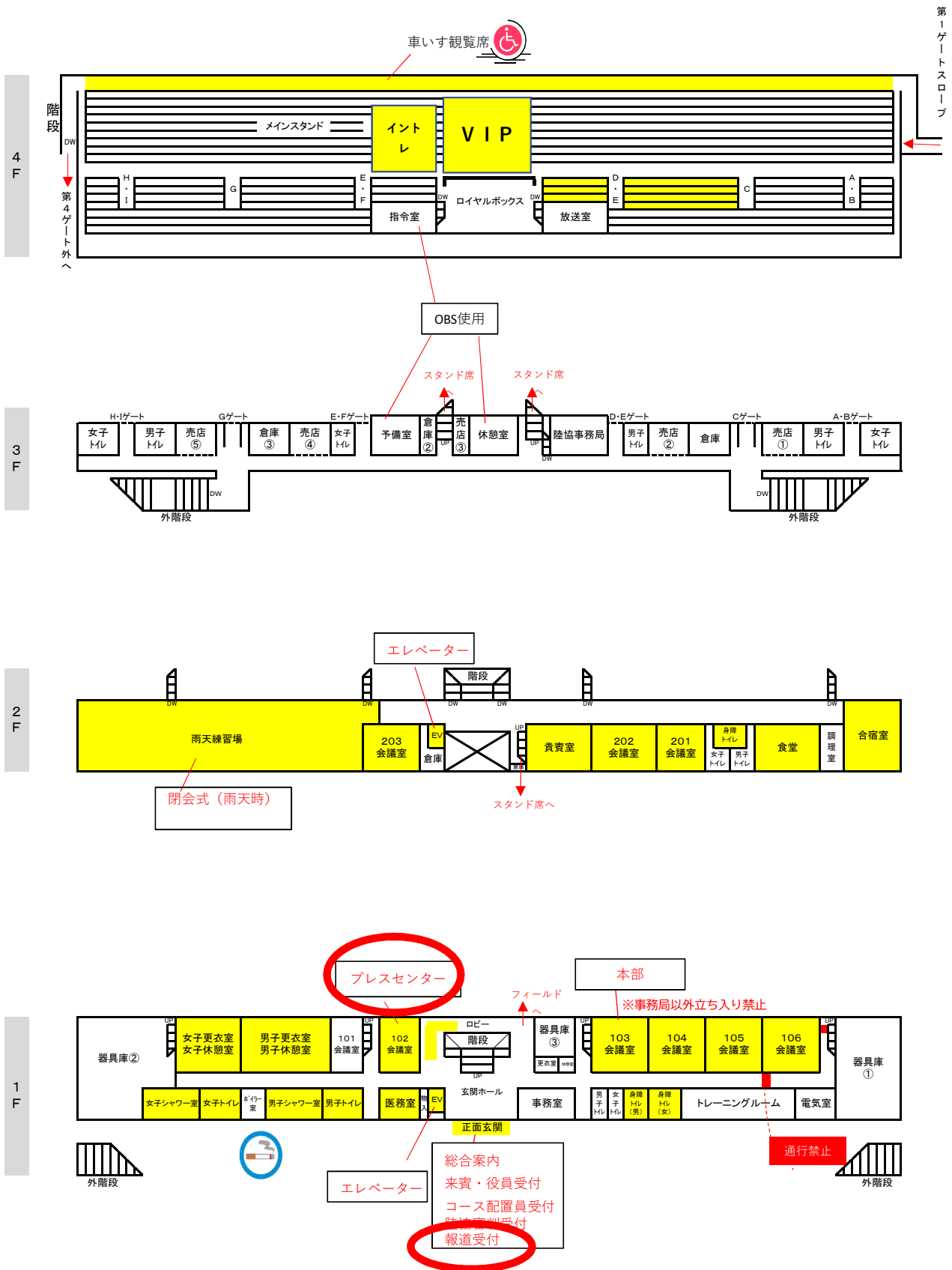
舞鶴高校

陸上競技場（雨天時）



舞鶴高校

39th室内・メインスタンドの図面



《大会概要》

本大会は 1981 年の“国際障害者年”を契機に、障がい者医療の専門医で社会福祉法人太陽の家創設者・中村 裕 博士（故人）の提唱により始められました。世界初の「車いす単独の国際マラソン」としてスタートし、その後毎年開催され、現在では世界パラ陸上競技連盟の公認大会として、国内外から世界のトップアスリートが集う世界最高峰の大会に成長を遂げました。

男子マラソン最速クラスの世界記録は本大会（第 19 回大会（1999 年））で生まれており、スイスのハインツ・フライ選手（1 時間 20 分 14 秒）が世界記録保持者です。

また、同じコースで地域に親しまれながら、40 年近くの歴史を重ねる車いすマラソン大会は世界唯一であり、昨年 38 回までの参加者総数は、延べ 11,388 人（海外 78 か国・地域、2,429 人）に上ります。

《今大会の特徴》

① マラソン

有力選手（世界ランキング男女 10 位以内 15 名）を中心に、昨年比 4 名増の 83 名の選手がエントリー。

来年開催される東京パラリンピックのマラソン出場資格獲得の大会である 2020 マラソンワールドカップ派遣選手の選考対象レースに位置づけられており、これまでの大会以上に白熱した真剣勝負が期待される。

② ハーフマラソン

国内では、最高齢の工藤金次郎選手（93 歳）をはじめ、連続出場選手など常連選手が出走予定。

また、大会事務局が初出場の選手を支援する「ファースト・チャレンジ・アシスト」選手として 6 名が出走予定です。

③ テレビ実況生中継

今回も、BS全国実況生中継及び地上波（OBS大分放送）での生中継を実施予定。

先頭集団に加えて中団や後方のレース展開、さらにはハーフマラソンの映像も交え、重度障がい者の健闘にもスポットを当てます。

《レースの注目ポイント》

マラソン男子 T34/53/54

昨年の第38回大会では、1位から9位までの選手の記録が10秒以内の僅差という激しいトップ争いが展開されました。その9選手は今年も揃ってエントリー。トップでゴールしたりオパラリンピック金メダリストのマルセル・フグ選手（スイス）や、1秒差で2位だった鈴木朋樹選手（千葉県）など、国際的にも著名なトップアスリートが集結し、2020年東京パラリンピックでの激闘を予感させる白熱したレースが大いに期待されます。

マラソン男子 T33/52

日本記録保持者である上与那原寛和選手（沖縄県）が9年ぶりの優勝を目指します。

マラソン男子 T51

第38回大会優勝のピーター・ドウ・プレア選手（南アフリカ）の世界記録更新に期待がかかります。

マラソン女子 T34/53/54

本大会で3連覇を狙う喜納翼選手（沖縄県）、昨年のベルリン大会で世界記録を更新したマニュエラ・シャー選手（スイス）を始め、前大会2位のマルグレット・ヴァンデンブロック選手（オランダ）、3位のアリネ・ホチャ選手（ブラジル）など、多彩な顔ぶれによる優勝争いは必見です。

《開会式》

レース前日の16日（土）16：00～、大分市内の商店街「ガレリア竹町ドーム広場」で開会式を行います。開会式後に選手が商店街をパレードし、終了後、同会場にて招待選手を中心に記者会見を行います。

《テレビ実況生中継》

レース当日は、BS及び地上波によるテレビ実況生中継を予定

- ・BS-TBS 11/17（日） 9：55～12：00
- ・OBS大分放送 // 9：55～11：30

《ラジオ生中継》

OBSラジオで生中継予定 9：55～12：00

(参考)障がい者陸上競技のクラス分け

① 競技種類

走競技・跳躍競技のクラスを意味する「T」、投てき競技のクラスを意味する「F」がある。

② 障害の種類

選手の主たる障がいの種類や競技形式を示す。

30番台：痙性麻痺、筋強直、協調運動障がいなどの特徴を示す脳原性の麻痺のある立位競技者及び
車椅子や投てき台を使用する競技者

50番台：脚長差、切断、関節可動域制限、筋力低下等の障がいのある車椅子や投てき台を使用する競技者

③ 障がいの程度

障がいの程度に応じて0～9の番号が割り当てられる。

番号が小さいほど障がいの程度は重くなる。

第39回大分国際車いすマラソン実施要綱

1 目的

この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2 名称

第39回大分国際車いすマラソン

3 主催

大分県、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者体育協会

4 公認

世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics)

(この大会は、WPA Approved Event として公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会(IPC)選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPA の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPA の公認対象ではない。)

5 主管

一般財団法人 大分陸上競技協会

6 共催

株式会社大分放送

7 後援

外務省、厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人 大分県体育協会、一般社団法人 大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人 太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人 大分県理学療法士協会、NHK大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8 協賛

オムロン株式会社、ソニー株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、株式会社富士通エフサス、富士通株式会社、新日本製薬株式会社、株式会社大分銀行、株式会社九電工、キヤノン株式会社、株式会社アソウ・ヒューマニーセンター、株式会社シップス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、株式会社エーワン、公益社団法人 大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、明野中央病院、東京海上日動火災保険株式会社、社会福祉法人 わかば会 清流の郷、第一生命保険株式会社、株式会社ジェイテック、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社コンカー、公益財団法人 笹川スポーツ財団、日本郵便株式会社、有限会社ドリームライン、ヤフー株式会社、日本製鉄株式会社

計36社

9 協力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、別府重度障害者センター、社会医療法人 恵愛会 大分中村病院、社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会、株式会社日本航空、九州旅客鉄道株式会社

10 日 時 (予定)

令和元年11月16日(土)

8時00分～15時00分	選手受付・クラス分け〈クラス分け要〉	(大分市営陸上競技場)
12時00分～15時00分	選手受付〈クラス分け不要〉	(大分県庁舎)
16時00分～16時20分	開会式	(ガレリア竹町ドーム広場)
16時20分～16時40分	パレード	(市内中心部商店街)
17時00分～17時30分	有力選手記者会見	(ガレリア竹町ドーム広場)

令和元年11月17日(日)

8時00分～9時20分	手荷物・生活用車いすの受付	(大分城址公園)
8時00分～9時20分	競技用車いすの検定、ロゴチェック	(大分城址公園)
8時00分～9時25分	ウォームアップ	(大分市役所周辺)
9時25分～9時45分	プレラインアップ	(大分市役所東側)
10時00分	マラソンスタート	(大分県庁前)
10時03分	ハーフマラソンスタート	(大分県庁前)
13時20分～	閉会式・表彰	(大分市営陸上競技場)
18時00分～20時00分	交歓の夕べ	(大分県庁新館大会議室)

11 実施種目及びコース

マラソン	(42.195km)	大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン	(21.0975km)	大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)

12 参加資格

令和元年11月17日現在、満14歳以上のもので下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、又はそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

- ①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者
- ②外国・地域選手については、車いす使用者で、主催者が認定した者

13 参加料

マラソン5,000円、ハーフマラソン1,000円とする。

14 競技規則

World Para Athletics 競技規則 (大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則) 及び別に定める本大会申合せ事項による。

参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

15 クラス分け

- (1) マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54 の3クラスに分ける。
- (2) クラス分けが必要な選手については、大分市営陸上競技場において判定する。
なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPA の国際クラスとしては承認されるものではない。

16 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

17 表彰

- (1) マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位を表彰する。
- (2) マラソンにおいて一定以上の成績をあげた選手に対して、賞金を授与する。金額については、別に定める。
- (3) 順位決定及び賞金の授与には、WPAにおける公認や選手登録の有無は影響しない。

18 申込方法

申込方法は以下のいずれかとする。

- ①参加申込書に必要な事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する（当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい）。
 - ②公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。
- ①、②ともに、参加申込みの締切は、令和元年8月30日（金）までとする。

19 競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする（健康保険証を持参すること）。

また、主催者において傷害保険に加入する。

20 雨天時の取扱い

雨天時においても原則として競技を実施する。

21 大会中止基準及び緊急時の対応

別に定める大分国際車いすマラソン危機対応マニュアルに基づき対応する。

22 健康管理

出走における健康管理については、自己責任とする。

23 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。

なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

24 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者体育協会に置く。

所在地 〒870-8501
大分市大手町3丁目1番1号
電話番号 097-533-6006
F A X 097-506-1736
大分国際車いすマラソン事務局メールアドレス
kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
大分国際車いすマラソンホームページURL（アドレス）
www.kurumaisu-marathon.com

大分国際車いすマラソン危機対応マニュアル

I 趣旨

このマニュアルは、大分国際車いすマラソンの中止基準及び緊急事案発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

II 大会中止基準

- (1) 大分地方気象台が、大分市に警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮）を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
- (2) 県内で震度5強以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (3) 県内に津波警報（大津波）が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (4) その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- (5) コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
- (6) 全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令され安全確保ができないとき。
- (7) 国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等が発生したとき。
- (8) ただし、上記（1）～（7）の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

III 判断方法（レース前）

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会審判長及び大会技術代表の意見を反映すること。

- ①レース7日前
- ②レース前日 午前10時
- ③レース当日 午前4時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

IV 緊急事案発生時の対応

大会期間中に緊急事案が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

(1) 想定される緊急事案の種類

事案の態様	種別
自然災害	①風雨 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布（異臭騒ぎ含む） ⑩各事案の予告 ⑪不審物（者）の発見
大規模な事故	⑫爆発 ⑬火災 ⑭ガス漏れ ⑮水道管破裂 ⑯道路陥没 ⑰停電

(2) 対処行動

緊急事案が発生した場合は、迅速かつ的確に以下の措置を講ずる。

ア 大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事案を正確に伝えるとともに、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ 選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ 救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防（救急隊）に引き継ぐものとする。

エ 避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員して大分市営陸上競技場又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

国、都道府県別エントリー状況

令和元年10月24日現在

エントリー集計

	マラソン		ハーフマラソン		合計	
	男	女	男	女	男	女
海外 18か国	35	6	9	2	44	8
国内 30都道府県	39	3	130	12	169	15
合計 19か国	74	9	139	14	213	23
	83		153		236	

海外国別エントリー状況

	マラソン		ハーフマラソン		合計		
	男	女	男	女	男	女	
1 アイルランド	2				2	0	2
2 アメリカ	4	2			4	2	6
3 イギリス	3				3	0	3
4 オーストラリア	2		1		3	0	3
5 オランダ		1			0	1	1
6 ガーナ			1		1	0	1
7 カナダ				1	0	1	1
8 韓国	5		3		8	0	8
9 コスタリカ	1				1	0	1
10 ジンバブエ	1			1	1	1	2
11 スイス	2	1	2		4	1	5
12 スペイン	2				2	0	2
13 中国	1				1	0	1
14 ブラジル	1	2			1	2	3
15 フランス	2				2	0	2
16 南アフリカ	3				3	0	3
17 メキシコ	4		1		5	0	5
18 ロシア	2		1		3	0	3
計	35	6	9	2	44	8	52

国内エントリー状況

都道府県名	マラソン		ハーフマラソン		合計		
	男	女	男	女	男	女	
1 北海道	1		3		4	0	4
2 宮城県	1				1	0	1
3 埼玉県	1		2		3	0	3
4 東京都	3	1	5	1	8	2	10
5 神奈川県	1	1	3		4	1	5
6 新潟県			1		1	0	1
7 福井県			3		3	0	3
8 長野県			1		1	0	1
9 岐阜県			1		1	0	1
10 静岡県	1		4		5	0	5
11 愛知県	6		5	2	11	2	13
12 京都府	1		4		5	0	5
13 大阪府	2		2		4	0	4
14 兵庫県	1		2		3	0	3
15 鳥取県			5		5	0	5
16 島根県	1		3		4	0	4
17 岡山県			1	1	1	1	2
18 広島県	1		4		5	0	5
19 山口県			2		2	0	2
20 徳島県	1		1		2	0	2
21 愛媛県			4	1	4	1	5
22 高知県	2				2	0	2
23 福岡県	5		10	1	15	1	16
24 佐賀県			9		9	0	9
25 長崎県	1		6		7	0	7
26 熊本県	3		8	3	11	3	14
27 大分県	6		21	2	27	2	29
28 宮崎県			8		8	0	8
29 鹿児島県			5		5	0	5
30 沖縄県	1	1	7	1	8	2	10
計	39	3	130	12	169	15	184

IPCマラソン世界ランキングトップ10(マラソンT53/54クラス)選手のエントリー数

		世界ランクトップ10 大分エントリー数		
		男	女	合計
平成30年	第38回大会	9	5	14
令和元年	第39回大会	11	4	15

IPC世界ランキングトップ10(マラソンT53/54クラス)選手のエントリー状況

男子 T53

順位	選手名	国籍
1位	パトリック・モナハン	アイルランド
2位	ユ・ビョンフン	韓国
3位	フィデル・アギラー	メキシコ
7位	ハインツ・フライ	スイス
10位	カラム・ホール	イギリス

男子 T54

順位	選手名	国籍
2位	ダニエル・ロマンチュク	アメリカ
4位	マルセル・フグ	スイス
5位	副島 正純	日本
7位	洞ノ上 浩太	日本
7位	西田 宗城	日本
7位	吉田 竜太	日本

11名

女子 T54

順位	選手名	国籍
1位	スザンナ・スカロニ	アメリカ
3位	マニュエラ・シャー	スイス
6位	マルグレット・ヴァンデンブロック	オランダ
9位	喜納 翼	日本

4名

招待選手(14名)

マラソン男子

○T51

選手名	国・地域 都道府県	主な記録	備考
ピーター・ドゥ・プレア(39)	南アフリカ	第38回大会優勝 IPCマラソン男子T51 2018世界ランキング1位	大会記録保持者

○T33/52

選手名	国・地域 都道府県	主な記録	備考
ウエヨナバル ヒロカズ 上与那原 寛和(48)	沖縄県	第38回大会2位	日本記録保持者

○T34/53/54

選手名	国・地域 都道府県	主な記録	備考
マルセル・フグ(33)	スイス	30回～35回優勝 大会6連覇 第38回大会優勝 IPCマラソン男子T54 2019世界ランキング4位	
スズキ トモキ 鈴木 朋樹(25)	東京都	第38回大会2位 IPCマラソン男子T54 2019世界ランキング24位	
ユ・ビョンフン(47)	韓国	第38回大会3位 IPCマラソン男子T53 2019世界ランキング2位	
ダニエル・ロマンチュク(21)	アメリカ	2019 ポストンマラソン1位 IPCマラソン男子T54 2019世界ランキング2位	
ヤマモト ヒロユキ 山本 浩之(53)	福岡県	第38回大会4位 IPCマラソン男子T54 2019世界ランキング14位	
ニシダ ヒロキ 西田 宗城(35)	大阪府	第38回大会5位 IPCマラソン男子T54 2019世界ランキング7位	
ハインツ・フライ(61)	スイス	10、11、13～22、28、29回優勝 IPCマラソン男子T53 2019世界ランキング7位	世界記録保持者 大会記録保持者

マラソン女子

○T34/53/54

選手名	国・地域 都道府県	主な記録	備考
キナ ツバサ 喜納 翼(29)	沖縄県	第38回大会優勝 IPCマラソン女子T54 2019世界ランキング9位	
マルグレット・ヴァンデンブロック(45)	オランダ	第38回大会2位 IPCマラソン女子T54 2019世界ランキング6位	
アリネ・ホチャ(28)	ブラジル	第38回大会3位	
スザンナ・スカロニ(27)	アメリカ	IPCマラソン女子T54 2019世界ランキング1位	
マニュエラ・シャー(34)	スイス	IPCマラソン女子T54 2019世界ランキング3位	世界記録保持者 大会記録保持者

エントリーした注目選手

○マラソン男子

選手名(年齢)	大会自己記録	プロフィール
マルセル・フグ(33) スイス T54	1:21:40 (34回)	本大会15回目の出場、30回~35回 6連覇 第38回大会優勝 1:23:59 IPC2019世界ランキング4位 《最近の主な記録》 2019 ドバイ 1:24:09
鈴木 朋樹(25) (すずき ともき) 東京都 T54	1:23:24 (36回)	本大会5回目の出場、第38回大会2位 1:24:00 IPC2019世界ランキング24位 《最近の主な記録》 2019 ロンドン 1:33:51
ユ・ビョンフン(47) 韓国 T53	1:24:00 (38回)	本大会12回目の出場、第38回大会3位 1:24:00 IPC2019世界ランキング2位 《最近の主な記録》 2019 ソウル 1:26:57
ダニエル・ロマンチュク(21) アメリカ T54	初出場	本大会初出場 IPC2019世界ランキング2位 《最近の主な記録》 2019 ポストン 1:21:36
山本 浩之(53) (やまもと ひろゆき) 福岡県 T54	1:23:22 (27回)	本大会28回目の出場、第38回大会4位 1:24:01 IPC2019世界ランキング14位 《最近の主な記録》 2019 ドバイ 1:28:31
西田 宗城(35) (にしだ ひろき) 大阪府 T54	1:24:01 (38回)	本大会13回目の出場、第38回大会5位 1:24:01 IPC2019世界ランキング7位 《最近の主な記録》 2019 ソウル 1:26:58
久保 恒造(38) (くぼ こうぞう) T54	1:23:24 (27回)	本大会18回目の出場、第38回大会6位 1:24:01 《最近の主な記録》 2018 大分 1:24:01
エレスト・ヴァンダイク(46) 南アフリカ T54	1:23:22 (27回)	本大会14回目の出場、第38回大会7位 1:24:03 IPC2019世界ランキング11位 《最近の主な記録》 2019 ポストン 1:27:23
洞ノ上 浩太(45) (ほきのうえ こうた) 福岡県 T54	1:23:30 (30回)	本大会18回目の出場、第38回大会8位 1:24:04 T53/54日本記録保持者 IPC2019世界ランキング7位 《最近の主な記録》 2019 ソウル 1:26:58
吉田 竜太(38) (よしだ りょうた) 東京都 T54	1:24:07 (38回)	本大会9回目の出場、第38回大会9位 1:24:07 IPC2019世界ランキング7位 《最近の主な記録》 2019 ソウル 1:26:58
ハインツ・フライ(61) スイス T53	1:20:14 (19回) *世界記録	本大会32回目の出場、第38回大会 1:38:07 最多の14回優勝 T53/54世界記録保持者 IPC2019世界ランキング7位 《最近の主な記録》 2019 ベルリン 1:31:56
上与那原 寛和(48) (うえよなばる ひろかず) 沖縄県 T52	1:47:17 (28回)	本大会14回目の出場、第38回大会2位 1:51:34 T33/52日本記録保持者 《最近の主な記録》 2018 大分 1:51:34
ピーター・ドウ・ブレア(39) 南アフリカ T51	2:30:53 (36回)	本大会6回目の出場、第38回大会優勝 2:37:06 IPC2018世界ランキング1位 《最近の主な記録》 2018 大分 2:37:06

○マラソン女子

選手名	大会自己記録	プロフィール
喜納 翼(29) (きな つばさ) 沖縄県 T54	1:39:36 (38回)	本大会6回目の出場、第38回大会優勝 1:39:36 IPC2019世界ランキング9位 《最近の主な記録》 2019 ソウル 1:41:12
マルグレット・ヴァンデンブロック(45) オランダ T54	1:44:06 (38回)	本大会3回目の出場、第38回大会2位 1:44:06 IPC2019世界ランキング6位 《最近の主な記録》 2019 ダルース 1:40:34
アリネ・ホチャ(28) ブラジル T54	1:44:45 (38回)	本大会6回目の出場、第38回大会3位 1:44:45 IPC2019世界ランキング19位 《最近の主な記録》 2019 ロンドン 1:52:13
スザンナ・スカロニ(27) アメリカ T54	初出場	本大会初出場 IPC2019世界ランキング1位 《最近の主な記録》 2019 ダルース 1:30:42
マニエラ・シャー(34) スイス T54	1:38:07 (33回)	本大会8回目の出場 T53/54世界記録保持者 IPC2019世界ランキング3位 《最近の主な記録》 2019 ボストン 1:34:19

○その他の選手

(最年少選手)			
辻野 春翔(つじの はると)		福岡県2004年12月生、14歳 ハーフ出場	
(最年長選手)			
工藤 金次郎(くどう きんじろう)		徳島県1926年生、93歳 ハーフ出場	
(39回連続出場 大分県3人)			
宇賀治 孝一(うがぢ こういち)		82歳 ハーフ出場	
吉川 勇 (よしかわ いさむ)		66歳 ハーフ出場	
原田 耕一(はらだ こういち)		62歳 ハーフ出場	
(初出場者数)	海外	国内	計
マラソン	12	0	12
ハーフマラソン	7	16	23
計	19	16	35

年齢は、すべて大会当日(令和元年11月17日)時で記載